

感染症リスクコミュニケーション研修会 実施要領

【目的】

新興感染症の発生時に、行政関係者が保健・医療・福祉機関、メディア、県民など多様な関係者と相互に情報や意見を共有し、立場やニーズを理解し合いながら信頼関係を築き、命と健康を守るための最適な意思決定と行動に繋げるためには、効果的なリスクコミュニケーションが不可欠である。

コロナ禍で明らかになった双方向のコミュニケーションや県民の行動変容を促す難しさといった課題を踏まえ、行政関係者等が次の感染症危機に備えて、リスクコミュニケーションに関する理解を深め、その重要性を認識し、それぞれの立場での感染症危機に係るリスクコミュニケーションについて考える機会を提供するため、本研修会を開催する。

【講演内容】

- ① 感染症を正しく恐れることの大切さ～新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて～（仮）

講師：長崎大学高度感染症研究センター センター長 森内 浩幸 先生

- ② 感染症危機に備えるためのリスクコミュニケーションとは（仮）

講師：大東文化大学 健康科学科 教授 中島 一敏 先生

【開催日時】 令和7年11月6日（木）14:00から16:00

【開催場所】現 地 会 場 長崎県庁 3 階 会議室（303・304・305）
（長崎市尾上町 3-1）

オンライン会場 Cisco Webex ミーティング

【参加対象】

- ① 県庁内関係部局職員（保健所、環境保健研究センター含む）
- ② 市町職員
- ③ 医療機関等

【参加定員】 現 地 会 場※ 80 名
オンライン会場 500 名

※現地会場は、原則、「県庁内関係部局職員」「市町職員」のみ参加可能とさせていただきます。

【カリキュラム】

14:00～14:05 開会あいさつ

| 4:05 ~ | 4:50 講演①

14:50~15:00 講演①に関する質疑応答

15:00~15:45 講演②

15:45~15:55 講演②に関する質疑応答

15:55~16:00 全体質疑